

# ルーマニア月報

2016年11月号



平成28年12月9日  
在ルーマニア大使館作成

Embassy of Japan in Romania  
<http://www.ro.emb-japan.go.jp>

本月報はルーマニアの報道をもとに、日本大使館がとりまとめたものです。

(AG:アジェルプレス通信、ZF:ズィアルル・フィナンチアル紙、NO:ナインオクロック紙)

## 主要ニュース

- 【内政】●12月11日の議会総選挙に向けた選挙戦が正式に開始された。
- 【外政】●リガ（ラトビア）で開催された第5回中欧・中国首脳会合にチョロシュ首相が出席した。
  - トランプ次期米大統領の当選を受けて、ヨハニス大統領は書簡を発出し、米国との戦略的パートナーシップ及びルーマニアが地域の安全保障に果たす役割の重要性を強調した。
- 【経済】●10日、2016年末のインフレ率予測は前回報告書での予想-0.4%から不変。2017年末インフレ率を前回の2.0%から2.1%に上方修正。
  - 15日、2016年第3四半期のGDP成長率（推定値）は対前年同期比4.4%（季節調整前）、及び4.6%（季節調整後）。2016年1～9月のGDP成長率は4.9%（季節調整前）、4.8%（季節調整後）。
  - 23日、政府は、第二回予算修正案を承認した。財政赤字目標はGDP比2.8%（キャッシュ方式）、2.95%（ESA方式）で不変。
  - 25日、10月末のルーマニアの財政収支は約12億5,680万レイ（約2億8,000万ユーロ）、対GDP比で0.17%の赤字であったと発表。
  - 31日、10月末の2007年から2013年欧州基金執行率を88.59%と発表。
- 【我が国との関係】●在ルーマニア日本大使館は11月を「日本文化紹介月間」と銘打ち、ルーマニア各地で様々な文化イベントを開催した。

## 内政

### ■議会総選挙に向けた動き

#### 【主な動き】

- ・2日、PNL（国民自由党。中道右派）は、同党全国評議会を開催し、議会総選挙後に同党が推薦する首相候補をチョロシュ首相とすることを決定した。しかし、同評議会後、チョロシュ首相は、選挙戦に関与するつもりはないとの意向を明らかにした。なお、これまでのところ、チョロシュ首相は同党入党の意向を表明していない。
- ・28日、DNA（国家汚職対策局）は、ブラガ前PNL共同党首を、収賄の罪で起訴した。

#### 【主な発言】

- ・1日、民放TV局の番組に出演したドラグネアPSD（社民党。中道左派）党首は、PSDはALDE（自由民主主義同盟。中道右派）との連立により議会過半数を獲得できる見込みであり、UDMR（ハンガリー人民民主同盟。ハンガリー人民族政党）との連立は想定していないとの立場を述べた。これに対し、タリチャーヌALDE党首は、12日、ブラショフで開かれた記者会見において、議会総選挙後の同党とUDMRとの連立の可能性を排除しない考えを示した。
- ・6日、民放TV局の番組に出演したドラグネアPSD党首は、PSDが政権についたとしてもルーマニア

外交の方向性は変わらないとの考えを述べた。

・17日、ダンUSR（ルーマニア救出同盟。反既存政党勢力）党首は、訪問したアラドにおいて、USRはあらゆる政党との連立を考えておらず、このことは（USRと同じく）チョロシュ首相支持を表明していると同じであるとの立場を述べた。

### 【主な政党の支持率】

・11月に入ってから公表された世論調査による主な政党の支持率は次のとおり。

PSD :	38-40%
PNL :	18-31%
USR :	7-19%
ALDE :	5-7%
PMP :	5-7%
UDMR :	3-5%
PRU :	3-5%

【政党略称】PMP：国民の運動党，PRU：統一ルーマニア党

## 外政

### ■主な要人往来

・5-6日、チョロシュ首相は、リガ（ラトビア）で開催された第5回中欧・中国首脳会合（「16+1」）に出席した（下記「中国関係」参照）。

・9日、コマネスク外相は、ルーマニアを訪れたザェリフ・イラン外相と会談し、両国の投資、運輸、エネルギー、農業及び科学研究・教育分野における協力再開について意見交換した。

・10日、チョロシュ首相は、ティミショアラ（ルーマニア西部）でブチッチ・セルビア首相と会談し、ルーマニアとベオグラード（セルビア）を結ぶ高速道路の建設を含む二国間経済協力等について意見交換した。

・14日、コマネスク外相及びモトク国防相は、フランスを訪問し、エロー仏外相及びル・ドリアン仏攻防省との間で「2+2」協議を行った。

・14日、コマネスク外相は、ブリュッセルで開催されたEU外務理事会に出席した。

・15-16日、コマネスク外相は、ジュデー・ヨルダン外相の招きによりヨルダンを訪問した。

・16-18日、コマネスク外相は、イスラエルを訪問し、テルアビブにおいてネタニヤフ・イスラエル首相と会談した（16日）。同会談では、二国間関係及び中東和平プロセス再開の見通し等について意見交換が行われた。

・22日、ローマ（イタリア）を訪問したコマネスク外相は、ジェンティローに伊外相と会談し、二国間関係及び欧州情勢について意見を交換したほか、ギャラガー・バチカン外務長官と会談した。

### ■中国関係

・5-6日、チョロシュ首相は、リガ（ラトビア）で開催された第5回中欧・中国首脳会合（「16+1」）に出席したほか、同会合の-marginにおいて李克強中国国務院総理と会談した。李総理との二国間会談では、ルーマニア農産品（特に豚肉）の中国市場への輸出拡大、観光促進、ロヴィナリ火力発電所及びチェルナヴォーダ原子力発電所での協力等について意見交換が行われた。

### ■米国関係

・8日、クレム駐ルーマニア米国大使は、同日開催された社交の席における挨拶において、ルーマニアと米国とのパートナーシップはかつてないほど強固なものであり、11月8日の米大統領選挙及び12月11日のルーマニア議会総選挙の結果如何に関わらず、両国のパートナーシップがさらに発展することが重要である旨述べた。

・9日、大統領府は、ヨハニス大統領が、トランプ候補の次期米大統領当選に祝意を伝える書簡を発出した旨発表した。同書簡の中で、ヨハニス大統領は、米国との戦略的パートナーシップ及び地域の安全保障においてルーマニアが果たす役割の重要性に触れるとともに、2017年には、ルーマニアは国防予算を対GDP比2%にするというNATO加盟国の公約を果たす

など、NATOの集団安全保障に貢献していることを強調した。

### ■モルドバ関係

・14日、大統領府は、13日に行われたモルドバ・大統領選挙においてモルドバ社会党党首のドドン候補が勝利したことを受けてのヨハニス大統領の談話を発表した。同談話の中で、ヨハニス大統領は、新たなモルドバ大統領は、叡智と穏やかさをもって職務を遂行すべきであるとの考えを述べるとともに、ルーマニアがモルドバの欧州統合路線を支持することをあらためて確認した。

・25日、ドドン・モルドバ次期大統領は、ルーマニア国営放送のインタビューに答え、ルーマニアはモルドバとの統一というアイデアを放棄すべきであり、両国間で現在の国境を承認する協定が締結されるべきであるとの考えを述べた。

### ■ロシア関係

・16日、ミクラ外務次官（政策分析・議会関係担当）は、ルーマニアを訪れたシュヴィトコイ露国際文化協力担当大統領特別代表と会談した。

### ■軍事・安全保障関係

・7-8日、ブカレストにおいて、B9諸国（ブルガリア、チェコ、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、スロバキア、ハンガリー及びルーマニア）外相会合が開催され、NATOワルシャワ首脳会合における決定事項を実施に移すための方策について意見交換された。同会合にはゴッテモラーNATO事務次長も参加した。

・14日、国防省は、チューカ統合参謀長が、15～18日の間、中国を訪問し、房中国人民解放軍総参謀長との間で、外国語学習、平和維持活動準備における協力、合同山岳演習、特殊作戦部隊間における協力、海軍士官候補生に対する訓練等について意見交換する旨発表した。

## 経済

### ■マクロ経済

（特に記載のない限り、対前年比又は前年同期比、季節調整後、出典は国家統計局INS）

#### 【9月分統計】

##### (1) 鉱工業

	8月	9月
工業生産高	5.3%	3.3%
工業売上高(名目)	9.3%	4.2%
工業製品物価指数	▲1.9%	▲1.5%
新規工業受注高(名目)	17%	15.1%

工業生産高及び新規工業受注高（名目）が若干減速。工業売上高（名目）が減速。

##### (2) 販売

	8月	9月
小売業売上高 (自動車・バイクを除く)	13.3%	9.7%
自動車・バイク売上高	19.9%	22.5%
小売業売上高 (ユーロスタット)	ユーロ圏 0.6% EU28か国 2.1%	ユーロ圏 1.1% EU28か国 2.2%

小売業売上高(自動車・バイクを除く)は減速。自動車・バイク売上高は加速。

なお、9月の小売業売上高（ユーロスタット）対前年同月比では、ルクセンブルク（+15.2%）が最も増加し、次いでルーマニア（+9.7%）及びポーランド（+8.6%）。

##### (3) その他

建設工事	8月	9月
	▲1.2%	2.0%

##### (4) 輸出入

	8月	9月
輸		
出	€44億4,690万	€52億4,120万

	(13.4%) RON198億4,790万	(6.7%) RON233億3,850万
	(14.5%)	(7.3%)
輸	€54億6,300万 (14.4%)	€60億2,800万 (6.5%)
入	RON243億8,370万 (15.5%)	RON268億4,210万 (7.2%)

### 【1月～9月分統計】

#### (1) 鉱工業

	8月	9月
工業生産高	1.1%	1.4%
工業売上高(名目)	3.9%	3.9%
新規工業受注高(名目)	6.9%	7.9%

#### (2) 販売

	8月	9月
小売業売上高 (自動車・バイクを除く)	15.9%	15.5%
自動車・バイク売上高	16.7%	17.6%

#### (3) その他

建設工事	8月	9月
	3.5%	3.4%

#### (4) 輸出入

	8月	9月
輸 出	€374億3,940万 (4.0%)	€426億7,780万 (4.3%)
	RON1,681億2,910万 (5.0%)	RON1,914億5,490万 (5.3%)
輸 入	€435億7,320万 (6.8%)	€496億1,120万 (6.8%)
	RON1,956億3,880万 (7.9%)	RON2,225億2,560万 (7.8%)
貿 易	▲€61億3,380万 (▲€13億3,820万)	▲€69億3,340万 (▲€13億9,280万)

収	▲RON275億970万	▲RON310億7,070万
支	(▲RON62億3,040万)	(▲RON64億9,590万)

### 【10月分統計】

#### ・消費者物価指数

	9月	10月
全体	▲0.57%	▲0.43%
食料品価格	0.46%	0.49%
非食料品価格	▲1.06%	▲0.8%
サービス価格	▲1.17%	▲1.11%
消費者物価指数 (ユーロスタット)	ユーロ圏 0.4%	ユーロ圏 0.5%
	EU28か国 0.4%	EU28か国 0.5%

なお、10月の消費者物価指数(ユーロスタット)対前年同月比では、ブルガリア及びキプロス(▲1.0%)が最も低く、次いでアイルランド(▲0.4%)。ベルギー(1.9%)が最も高く、次いでオーストリア(1.4%)。

#### 【その他統計】

・7日、INSはルーマニアの2016年第3四半期のGDP成長率(推定値)を対前年同期比4.4%(季節調整前)、及び4.6%(季節調整後)、また対前期比では0.6%(季節調整前)としそれぞれ据え置いた。2016年1～9月のGDP成長率は4.9%(季節調整前)、4.8%(季節調整後)で据え置かれた。(INS)

#### ■ IMF、国際機関関係

・3日、欧州復興開発銀行(EBRD)は、2016年通年のルーマニアのGDP成長率を4.0%から4.8%に上方修正した。また、2017年の経済成長率を3.5%から3.7%に上方修正した。(4日付ZF)

・9日、IMFルーマニア・ブルガリア事務所長Hajdenberg氏の声明：2017年1月から公務員給与の追加上昇を認めると来年の財政赤字が対GDP比で3.0%を超えるに違いない。(9日付AG)

## ■産業界の動向

- ・1日、不動産登記庁のデータによると1～9月に不動産市場での取引数は70万に届き、前年同期比で5万6,000増加した。(4日付ZF)
- ・2日、フランス自動車製造者委員会(CCFA)によると、10月におけるフランスでのダチア新規登録台数は7,603台になり、対前年同月比で+3.7%増加した。フランスの自動車市場全体は-4.0%減少した。1月～10月にかけては、ダチア新規登録台数は9万2,727台になり、対前年同期比で+13.1%増加した。フランスの自動車市場全体は+4.7%増加した。(CCFA)
- ・10日、ルーマニア運転免許証・自動車登録局(DRPCIV)によると、1月～10月にかけて、新車登録台数が7万5,943台に達し、対前年同期比で約18%増加した。(10日付AG)
- ・17日、欧州自動車工業協会(ACEA)によると、10月におけるヨーロッパでのダチア自動車新規登録台数は2万8,798台となり、対前年同月比で-2.1%減少した。1～10月にかけては34万5,504台となり、対前年同期比で10.2%増加した。(ACEA)
- ・17日、ルーマニア自動車生産者輸入業者協会(APIA)によると、1～10月の車両販売台数は11万4,960台で、対前年同期比で17.5%増加した。1月～10月のメーカー別自動車販売は1位がダチア(28,837台、市場シェア:30.9%)で、次いでVolkswagen(9,884台、市場シェア:10.6%)、Skoda(8,481台、市場シェア:9.1%)。(APIA)

## ■公共政策

- ・7日、2017年1月から保険・教育セクターでの給与の上昇を認める緊急政令(2016年第20号)が議会で承認された。(8日付ZF)
- ・ブルガリア首相は、ルーマニア・ブルガリア天然ガスインターコネクタが2016年11月11日に操作可能になると発表した。(8日付ZF)
- ・23日、ヨハニス大統領は官民パートナーシップ(P

PP) 法案(public-private partnership law)に署名し、同法が25日官報告示された。(23日付AG)

- ・23日、政府は、第二回予算修正案を承認した。財政赤字目標はGDP比2.8%(キャッシュ方式)、2.95%(ESA方式)で不変。(23日付AG)
- ・欧州基金省は、10月末の2007年から2013年欧州基金執行率を88.59%と発表。1月末は63.47%、7月末の76.69%、8月末の80.23%、9月末の86.74%から上昇。(欧州基金省)

## ■財政政策

- ・25日、公共財務省は、10月末のルーマニアの財政収支は約12億5,680万レイ(約2億8,000万ユーロ)、対GDP比で0.17%の赤字であったと発表。前年同月末の財政収支は約90億4,070万レイ(約20億900万ユーロ)、対GDP比で1.28%の黒字であった。(公共財務省)

## ■金融等

- ・1日、10月末の外貨準備高は343億4,700万ユーロ(9月末の332億9,900万ユーロから増加)、金準備高は103.7トンで不変。(BNR)
- ・4日、ルーマニア中央銀行は、政策金利を年率1.75%で据え置くことを決定した。(BNR)
- ・14日、9月末の経常収支等について次のとおり発表。
  - (1) 経常収支は26億6,100万ユーロの赤字。なお、前年同期には10億9,900万ユーロの赤字であった。
  - (2) 外国直接投資(FDI)は、31億4,300万ユーロ。なお前年同期は25億1,400万ユーロ。
  - (3) 中長期対外債務は、2015年末から0.5%減少し、701億7,200万ユーロ(対外債務全体の77.4%)。
  - (4) 短期対外債務は、2015年末から3.2%増加して、205億500万ユーロ(対外債務全体の22.6%)。(BNR)

## ■労働・年金問題等

- ・3日, ILO基準による9月末の失業率は, 8月末の失業率と比べて0.1%ポイント低下し, 5.9%となった。(INS)
- ・7日, 9月の平均給与(グロス)は, 2,898レイ(約644ユーロ)で, 対前月比で0.8%増加。平均給与(手取り)は2,094レイ(約465ユーロ)で, 対前月比で18レイ上昇。なお, 平均給与(手取り)が最も高かった業種は, 天然ガス・石油精製業(5,737レイ, 約1,275ユーロ)で, 反対に最も低かったのは宿泊・飲食業(1,265レイ, 約281ユーロ)。(INS)
- ・8日, 国家統計局(INS)のデータによると, 今年1~9月に公務員給与が平均で24%増加した。(8日付ZF)
- ・10日, BNRは, 四半期毎のインフレ報告書にて, 2016年末のインフレ率予測を, 前回報告書での予想-0.4%から不変とした。2017年末インフレ率は前回の2.0%から2.1%に上方修正した。(BNR)
- ・11日, 国家雇用庁(ANOFM)は, 9月末の失業率が, 8月末の失業率から0.03%ポイント低下し, また, 2015年9月末の失業率から0.11%ポイント低下して, 4.77%となったと発表。(ANOFM)
- ・29日, ILO基準による10月末の失業率は5.8となった。(INS)

## ■格付(2016年12月9日付)

Fitch	外貨建長期(国債)	BBB-	(安定的)
	自国通貨建長期	BBB	(安定的)
S&P	外貨建長期	BBB-	(安定的)
	自国通貨建長期	BBB-	(安定的)
JCR	外貨建長期	BBB	(安定的)
	自国通貨建長期	BBB+	(安定的)
			(内はアウトルック)

## 我が国との関係

- ・1日, 和食/日本酒紹介イベントを皮切りに, 「日本文化紹介月間」が始まった。期間中, グラフィック展(8-27日, クルージュ), IKEMEN和楽器ワークショップ&コンサート(9,10日, ブカレスト), 江戸浮世絵展(15-17日, ブカレスト), 日本映画祭(17-20, ティミショアラ, 25-27日, ブカレスト), カラオケコンクール(26日, ブカレスト)が開催された。